

当院で造影 CT を行われた患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	造影剤注入速度と圧力および流体力学的関係
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	中央放射線部
研究責任者	技師長 中村勝
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	留置針や造影剤の種類によって注入時の圧力負荷がどの様に変化するのかを調べることを目的としています。解析が進めば患者さん毎の検査内容に合わせた穿刺針や造影剤を選択利用できるようになることが期待されます。
対象となる患者さん	2014年4月から2019年5月までの期間に、当院にて造影CTを行われた方を対象としています。
研究の方法	当院にて実施された造影CT検査から、解析に必要な造影剤の種類、留置針の太さ、造影剤注入時の流速と圧力のデータを抽出してデータベース化し、その相関を取ります。また、相関値と流体物理学的に導かれた理論値とどのくらいの差があるか調べ、理論値を臨床参考にできるのか検討します。また、必要に応じて多変量解析を行い留置針や造影剤の種類で注入圧がどの様に決定されるか調べます。 対象期間中に検査を受けられた方で本研究への利用に関し疑問がある、若しくは研究結果の開示に関して希望がある場合、下記の問い合わせ先まで申し出てください。ただし、本研究では、データから患者さんの個人が特定できる情報は一切使用せず、数値的データのみ使用し解析を行います。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2023年7月31日
研究に用いる試料・情報	情報:造影CTにおいて造影剤を注入する速さとその際シリンジにかかる圧力負荷のデータ、造影剤注入時の使用留置針と造影剤の種類等。
外部への試料・情報の提供	なし。

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 中央放射線部 担当者：診療放射線技師 山田竜也 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 35212）